

お話下され、奥様から、お手厚いおもてなしを戴きました。あの事も、この事も、みんなみんな大、倉橋先生をお偲び申上げる一こまであって、余りにも大きい先生の御あとは、口下手な私の、到底よくする事ではございません。唯、唯、心より偉大なる我等の太陽、倉橋先生の御冥福をお祈り申しあげる次第でございます。

(福島県若松幼稚園長)

## 倉橋先生の御霊前に 御詫とお禮と

田坂ユキ

四月二十二日の朝のニュースで先生の御逝去を突然に伝えられました。昨年の六月研究会でお茶の水幼稚園へ参りました時に中野のお宅へお訪ねいたしました。「よく肥つたでしょう、元氣になりましたよ」とにこにこしながら玄關迄お出かけ下さいましたあのやさしいお姿。崇高な先生の御尊顔が目前に浮んで胸が一ぱい。ラジオの前に立ちすくんでしまい

ました。又来る六月の研究会に上京して先生にお目にかかりお話申上ますことを楽しみにしておりましたに。遠い土地のことで告別式にも間に合いません、誠に済まないと思っております。

お茶の水のバラックの幼稚園時代から大塚の新築に移ります頃の御元氣な御姿を思い出しまして、終戦後九月から又幼稚園も始めましたよ。勇ましくやっていますよ、と云うお葉書を頂いてお案じ申上げておりました先生に、翌年の五月にお久しぶりに園長室で倉橋先生と及川先生とお互に無事を喜びあい、幼稚園も無事先生方も御無事私の方も戦災のため市中に唯一つ残された園であつたことを涙ながらに、

「又やりましたよ、戦うことよりも平和はまだ一層困難だよ」とおっしゃいました。東京大しん災後から今日迄三十余年の長い間、何かと細々幼児教育について御指導いただいた私共は幸福で座御いました。毎夏の文部省の講習は必ず出席し岡山、神戸、大阪、京都とそのつど受講いたしました。私は一層深く先生の御教に預れた者として厚く御礼申上ますばかりです。

今一つ先生の御霊前にお詫び申上ねばなりませんことが御座います。それは戦が激しくなろうといたします昭和十二年の九月に四国四県の保育大会を愛媛県で開くことになりました。特別講演に倉橋先生にお越し願うことになりました、

関係者一同大重で準備を始めました。反面先生には戦場にお

とらぬ強行動。金曜日之夜東京発岡山に到着して高松に渡り、急行で夕方やつと松山着、翌日曜日九時から講演。午後はお茶の水、同窓会の方々との会合その夜高浜から乗船神戸に向う。月曜日の朝神戸から特急で夕方東京着翌火曜日には学校へ必ず出ねばならないと云うこと。地方の幼児教育のためこんな御迷惑をおかけして先生に御無理おさせ申したことが大変心苦しく思われてなりません。いく度も先生とそのお話をいたします度に、「あの時はああするより外に方法がなかったのだね」とおっしゃって下さる程私は、先生に御無理お願いしたことを御病氣の原因の一つにもなったのではなからうかと思つて悲しくなつて参ります。何と御詫び申上げてよいやら言葉が出ません。全国の先生方が先生をおしたいして、御話を一寸お聞かせして頂いたので結構だ。先生の御顔を一目みせてもらつてもそれで保育者になれるのだと云う若い方々の御熱意に、先生に御無理お願いしましたことが濟まなかつたと泣けてなりません。「あの頃は僕も大変勇ましかつたよ」と云つて笑つていて下された先生。今いよいよ御別れて私共はどうした所へ進んでよいかと迷うようではございませが、きつと正しい幼児教育、先生の御教を守つて行く現場楽しいお園をどうぞ御見守り下さい。きつと先生の御意志のあるところを通つて参ります。そうすることによって、先生

の御めい福を祈り上ます。

(今治市昭安幼稚園長)

## 倉橋惣三先生のこと

津守 真

倉橋先生はこわい所のある方である。

こうして倉橋先生のことをいろいろ考えていると、先生の温和な優しいお顔と、温かい心づかいの数々を先ず思い起す。がそれとともに、一点ぴりりとする秋の空気のような感触を思う。心から幼な児と母性の味方であつた先生。その先生独特の柔らかい表情と言葉の奥に、古武士を思わせる厳粛な気持を私は感じていた。それは何かことをきめるとき、行動にうつそうとするときどきに、私の予想せぬ質問や表情となつてあらわれ、しばしばぎくりとさせられたのである。

何でそんなにこわく感じたのか。それは先生がいつもものごとの本筋を捉えておられたからだと思ふ。心の奥底で、真